

東京都病院協会 会報

東京都病院協会
医療共済制度 引受保険会社



MetLife
メットライフ生命

発行所：一般社団法人東京都病院協会／発行人：猪口正孝 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館404号室
TEL:03-5217-0896 / FAX:03-5217-0898 / URL : http://www.tmha.net / E-mail : tmha@mri.biglobe.ne.jp

2020年(令和2年)1月28日
第273号
毎月1回 定価200円(会員購読料は会費含む)

年頭所感

病院で働く者の生活が豊かになる提言も

東京都病院協会 会長 猪口 正孝



猪口 正孝

東京都病院協会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。さて、本年は病院経営に大きく影響する、外来医療計画と医師確保計画などの医師の偏在対策、そして働き方改革、診療報酬の改定などが予定されています。必要な情報の提供、東京都医師会との協働による都行政への働きかけ、全日病等と連携した国への要望など、都病協としての活動を積極的に行ってまいります。

中でも、医師の偏在は地域的偏在と診療科目別偏在が特に問題とされ、地域的偏在対策として外来医療計画と医師確保計画が進められています。開業を考える若手医師に「診療所が多くて、働き甲斐や収入もおぼつかないから、この地域では開業しない方がいいよ」とデータで示し、行動変容を促す「こちらの水は苦いよ」作戦が外来医療計画です。診療科や病院外来が計算に入っておらず、二次医療圏単位では実効性が薄いと云わざるを得ません。そもそも、若手の医師が都市部の外

来多数地域を選択するのは、診療のみが目的ではありません。家庭を持ち、子育てする世代にとって、共働きパートナーの職場環境、子育てのしやすさ、子供の教育、両親の介護など様々な理由から開業地を選択しています。これから家庭を築き上げる世代は生活を総合的に考えているのであって、医師本人の診療の面には着目していません。この計画は全く徒労に終わるのではないかと思います。

一方、あまり取り上げられていないのが医療機関間の偏在です。大病院をはじめとした医療機関は、研修医制度などで既に人的余力がなくなっており、市中病院は大病院からの医師派遣の供給がストップし、慢性的医師不足の状態にあります。結果、常勤で働く医師は激務となり心が折れて辞めていきます。15年ほど前の医療崩壊が、働き方改革をきっかけに再浮上している印象です。医師不足で取り上げられる救急科・周産期・外科などは、過酷な病院勤務から逃げ出す。病院勤務の水は苦いから、どこか甘いところに行きたい。問題にほかなりません。

厚生労働省の調査によると、女性医師の労働力は男性医師に比して「0.8」程度で、女性にとって働きづらい労働環境が原因とされていますが、「子供のために4時には絶対上がります」と女性医師が切羽詰った様子

副会長

年頭所感

永生病院 理事長
安藤 高夫

安藤 高夫

昨年中は河北博文名譽会長、猪口正孝会長をはじめ、多くの都病協の先生方に大変お世話になりました。現在、衆議院議員として引き続き厚生労働委員会を、また自民党内の厚生労働部会では副部会長を拝命しております。これも都病協会員の皆さま方に温かいご支

第14回東京都病院学会まで

アルカディア市ヶ谷にて開催 **あと26日!** 2020年2月23日(日) 9:00~17:00

- 休憩ルーム (4階飛鳥) 午前9時~午後4時
コーヒー等の飲み物の無料提供 (入退場自由)
協賛：東洋羽毛首都圏販売株式会社による企業展示を同時開催
- 託児ルーム (6階貴船) 午前8時30分~午後5時30分
▽対象年齢：3歳~未就学児まで▽定員：10名▽無料
※利用をご希望の方は事前に事務局までお申込みください。
お問合せ：☎03(5217)0896
✉gaktmha@xqb.biglobe.ne.jp

に長けた医師の上級職の設定はあまりないように思います。医師の技術に即した診療報酬制度であれば、対応が進むように思います。

子育ても終わり一段落した60代以降の医師雇用体制の整備も必要でしょう。大手病院の定年退職後の第二の人生を、人手の少ない病院で過ごしていただく。民間病院にとって大事な医師確保手段になると思います。病院の水が多少甘くなつて、一生働いていても生活が豊かに維持できることを示せるかどうか鍵になるでしょう。病院経営者の視点から考え、いい形で施策が行われるように頑張ります。

では、本年もご指導ご鞭撻とともに、都病協に対する積極的なご参画とご支援をよろしくお願いいたします。

援・ご指導をいただいているおかげであると感じております。心より感謝申し上げます。

※出典：厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会」第4回医師需給分科会資料1「医師の需給推計について」(2016年3月31日)

昨年度の厚生労働委員会においては公立病院への繰入金についての質問を行い、総務省から8083億円であるとの回答を得ることができ、その後の大きな議論の出発点となりました。また、都病協の先生方の意見もいただきながら、公立・公的病院、民間病院の機能・経営状態がわかるような新しいインディケーターをつくり、それを見ながら地域医療構想調整会議をすすめることで地域医療をより良いものにしていくってはどうかという質問もしました。

都病協の使命のひとつに、東京都民のために質の良い医療提供体制を守ることがあります。このためには、財源の確保も重要になってきます。東京都に特有の問題である高い地価や建築費、人件費、物価等を考慮すると、建築基準法上の容積率や医療法上の施設基準等の規制緩和や地域格差を埋めるための報酬体系、すなわち河北名誉会長が提唱している都単独事業としての「東京都入院基本料」のような議論も必要になってきます。また現在、都立病院には多額の運営費補助金が交付されていますが、これは、それだけの運営費がなければ東京都では病院が運営できないという証左でもあります。東京都において地域格差と官民格差は密接不可分のものであり、病院の実に9割以上が民間経営である東京都において官民の差を解消することは、地域医療を堅持していく観点からとても重要なことです。

都病協は、東京都内の6つの病院団体(全日本病院協会東京都支部、東京精神病院協会(現東京精神科病院協会)、東京都私立病院会、東京都病院労務管理協会、日本医療法人協会東京

支部、日本病院会東京都支部)をまとめる団体として設立され、地域医療構想に造詣の深い猪口正孝先生が会長を務める団体であるからこそ、率直かつ説得力をもった提言ができると思います。地域医療構想と地域包括ケアシステムを確立し、各地域において直面する課題を解決するためにも、東京都医師会の尾崎治夫会長や、東京都の枠を超えた事案については全日本病院協会の猪口雄二会長とも緊密に連携しながら、都民によりよい医療が提供できる体制をつくっていかねばと思っております。

今年度は診療報酬改定が行われます。医師の働き方改革や医療機能の分化・強化、連携が推し進められるとともに

寿康会病院 理事長

猪口 雄二



猪口 雄二

2020年が明け、東京都病院協会の会員の皆様におかれましては、つがなく新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。今年はいよいよ東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。また、その直前には都知事選も行われます。例年にも増して、東京がクローズアップされる年となりそうです。さて、昨年10月の消費税率10%への引上げによって、2025年をめざし

介護保険制度改革なども進み、医療・介護における課題は山積みです。地域のやる気のある医療機関が報われるよう、質を担保したうえで、規制緩和を含めた抜本的な施策を進めることができるよう、一つひとつ丁寧に議論をしていきたいと思っております。

医師として、また国会議員として、都病協をはじめとする病院団体の役員、そして医師会の理事としての経験を活かし、特に医療を取り巻く課題の解決に向けて、全力で取り組んで参りたいと思っております。診療報酬・介護報酬の改定においては、地域医療・地域介護のために質を担保したうえで、特に細部の省令や政令について現場に根ざした提案をしていきたいと思っております。

進めてきた社会保障・税一体改革は一つの節目を迎えましたが、2025年の先を展望し、高齢化がピークを迎える2040年を見据えて社会保障の改革が検討されています。2025年以降は、人口減少が急速に進み、社会保障の担い手となる現役世代が減少すると予測されています。こうした中で、医療や介護のサービスの担い手の確保が大きな課題となっています。

政府は、全世代型社会保障検討会議を立ち上げ、医療、年金、介護、労働の各制度にわたる見直しを検討しています。昨年12月には中間報告が公表され、その中では大病院外来初診・再診時の定額負担の仕組みを大幅に拡充する方針が打ち出されました。6月の最終報告に向けて具体的な検討を進めるとされていますが、機能分化の必要性は理解しつつも、性急な改革は、地域の医療提供体制を徒に混乱させる元と

なります。日本の医療のあるべき姿とは何か、そこからしっかりと議論を積み重ねていく必要があると考えています。

医療提供体制については、地域医療構想、医師の働き方改革、医師偏在対策の3つの改革が進められています。3つの改革は密接に関係することから、一体として考えるべきではありませんが、それぞれに大きな改革であるとともに、ゴールとして設定されている期限も異なることから、一つ一つを丁寧に議論する必要があります。

医師の働き方改革では、時間外労働の上限規制が医師に適用される2024年に向けて、労働時間短縮を進めるために、医師の業務について様々な職種へのタスク・シフト/シェアが法改正も含めて検討されています。当然のことながらタスクを受けとる側の負担についても考慮が必要であり、個々の医療機関は、より高度なマネジメントが求められることとなります。病院でもAIやICTの積極的な活用、さらには進展が著しい介護ロボットなどの活用なども考慮しつつ対応しなければならぬと思っております。

複十字病院 院長

大田 健



大田 健

新年おめでとうございます。昨年は

本年4月に予定されている診療報酬改定でも、医師の働き方改革の推進が重点課題となっており、改定率には働き方改革への対応分も上乗せされました。働き方改革を推進するためには、当然のことながら人件費を含めてコスト増になることは明らかです。中医協委員として、根拠に基づいた点数設定は勿論のこと、柔軟な働き方に対応できるように要件等の見直しについても求めていきます。

また、私が会長を務めております全日本病院協会ですが、現在会員病院数が2550を超え、我が国最大の病院団体となりました。全日病の東京都支部は東京都病院協会と一体となつて様々な事業活動を行っています。この場をお借りして猪口正孝会長並びに役員の皆様、会員の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

我々が取り組むべき課題は山積しています。会員の皆様とともに、一致団結して東京の医療を支えるべく活動していきたいと存じます。本年も、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新たに元号が令和となりましたが、本年は1年間をフルに令和2年として過ごす新たな時代の1ページを感じます。東京オリンピック・パラリンピックの開催もあり、イベントによる楽しみも交えながらも社会的には慌ただしい1年になると推測されます。まずはここ数年毎年のように見られている「有史以来の」、「想定外の」、あるいは「記録的な」といった冠がつく災害が起きないことを願うばかりです。

と思つていきます。精神科医療にも働き方改革や専攻医のシリング問題の影響がでてきたり、枠外にあった医療計画でも精神科が取り上げられるようになりまして。また、精神科病院に長期入院している患者の高齢化による身体合併症による転院依頼や、退院促進によつて地域で増えている精神疾患を持つた患者さんの増加などによつて、一

私の医道

武見 敬三
参議院議員



1960年代は、戦後の医療政策の発展史という歴史的な観点から見ると、法律ができ、プレーヤーはそろつたが、そのルールをいかに解釈し、政策を策定するかという、制度化の途上期にあつたと言える。日本医師会は政策決定が制度化される中で、医師の専門性とプロフェッショナルフリーダムをキーワードに、常により優位な立場を確保することに注力し、そのために日本医師会の包括的な視点に立つた政策立案能力の強化に努めた。特に関連する社会科学の活用を腐心し、人口に関する安川推計で著名となつた慶應義塾大学の安川正彬教授、当時まだ医療経済学という分野が誕生していなかつたが、一橋大学の経済学部の教授、助教が参画した。さらに、政策の裏付けとなる法律論についても東京大学の教授らから助言を得ていた。その他、社会学であれば慶應義塾大学の青沼吉松教授、また、ライフサイエンスの視点から上智大学の青木清教授、哲学とい

第8回

60年代の闘争後に父が言ったこと

「やるならやってみろ」と佐藤首相に言われ、父は真正面から約1カ月の保険医総辞退を行い、ときの総理大臣に闘いを挑んだと言えり。

事態收拾のために斎藤厚生大臣が動くことになるが、この経緯もあり、最終的には佐藤栄作首相も署名する日本医師会の佐藤内閣との間の12項目の合意という成果を得ることができた。また、診療報酬改定においても大幅な引き上げを得ることに成功した。保険医の経済的な基盤が制度上まだ安定していなかつた時期において、この診療報酬改定及び佐藤内閣との合意

般科の先生方にはお世話になる機会が増えていと思つています。ご迷惑がかからないように、東京精神科病院協会として、対応できる体制を取つていきたいと思つています。

私事ですが、昨年は大きな変化がありました。それは、女性医師に対する考え方です。眼科、皮膚科などは従来から女性医師が多いと思つていますが、最

近では精神科にも多くの女性医師が入局してきます。当然、出産育児などの理由で当直や通常勤務が難しく、他の医師に負担がかかることになり、これを不服として申し出る他の医師もいます。このような女性医師の増加はある程度の医師数でカバーせざるを得ないと思つていますが、医師需給分科会では将来の人口減少に伴う医師過剰に歯止め

う立場からは日本大学の大江精三教授らの協力を得ていた。60年代は、こういった社会科学を含む医師会の政策立案能力の強化が行われた10年であつた。

さらに、政治闘争として、1971年の保険医総辞退が挙げられる。この保険医総辞退は、1961年に政府が約束した医療保険の抜本改正が実現されていらないこと、政府の低医療費政策、関係審議会の無能力などを理由に行うこととなつた。保険医総辞退をするにあつては、その旨、武見太郎が直接、佐藤栄作首相に伝えたところ、

「やるならやってみろ」と佐藤首相に言われ、父は真正面から約1カ月の保険医総辞退を行い、ときの総理大臣に闘いを挑んだと言えり。

事態收拾のために斎藤厚生大臣が動くことになるが、この経緯もあり、最終的には佐藤栄作首相も署名する日本医師会の佐藤内閣との間の12項目の合意という成果を得ることができた。また、診療報酬改定においても大幅な引き上げを得ることに成功した。保険医の経済的な基盤が制度上まだ安定していなかつた時期において、この診療報酬改定及び佐藤内閣との合意

は、保険医の経済的基盤を決定的に安定化させる効果を持つたと言えらるう。

これには後日談がある。保険医総辞退も終わり、わが家にも平穏が訪れ、父と食卓を囲んだ時に父の話したことが忘れられない。「今回の保険医総辞退は大変大きな成果を得ることができた。これで日本の医師も保険医として食いつぶされることはなくなるだろう。しかし、私が憂慮していることがある。それは、医学・医療の進歩というものは間断なく続く、それは常に保険診療だけでカバーできるものではない。したがって、経済的基盤が安定化することで、日本の

医師が保険診療の中でしか医学・医療を考えなくなることを憂える。それは、医師が保険診療の奴隷になつてしまふことに等しい」

今日、世界の医学・医療は更に進歩のスピードを速めるイノベーションの時代に入った。医薬品の高価格化を含め、財政的に今後医学・医療の進歩の果実を全て保険診療がカバーすることは難しくなるだろう。あらためて保険診療の範囲の中でのみ医学・医療のあり方を議論することの限界が近づいているように思う。日本の医師が、父が言つたように、「保険診療」の奴隷とならぬことをひたすら願つている。

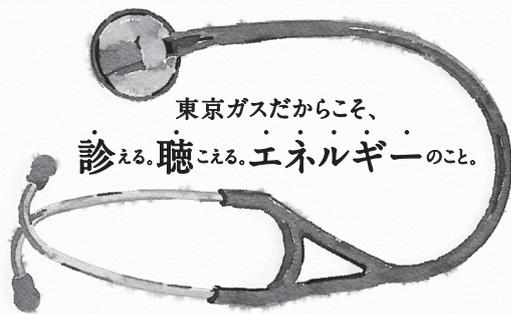
今日、世界の医学・医療は更に進歩のスピードを速めるイノベーションの時代に入った。医薬品の高価格化を含め、財政的に今後医学・医療の進歩の果実を全て保険診療がカバーすることは難しくなるだろう。あらためて保険診療の範囲の中でのみ医学・医療のあり方を議論することの限界が近づいているように思う。日本の医師が、父が言つたように、「保険診療」の奴隷とならぬことをひたすら願つている。

をかけるために、医学部定員の減少を掲げています。状況としては憂うつな気分でした。そのような12月の始めに厚労省主催の医師の働き方改革の説明会に参加しました。ここで、ある病院の女性理事長の話を聞く機会がありました。「女性医師が厄介者と思われていると感じていればやる気もおきない。彼女らに期待して責任をもつてもらつて、活躍してもらうことが大事である」という内容でした。私は厄介者とは思つていませんでしたが、家庭のこともしながらの医師はたいへんだろうと気を使つていました。結果として、信頼していいことになつていたのではないかと反省したのです。この先生は私の母校の慈恵医大出身で後輩です。後輩に指導されるのも情けない話ですが、本当に良い後輩を持つたと思つていました。心を入れ替えて、今年も女性医師に頼らうと思つています。患者さんへの精神療法として、受け入れる、認める、任せる、委ねるなどの気持ちは、敗北を意味するようにも思いますが、これを建設的な気づきとして捉えられようように導きますが、正しく自分自身がこのような体験に至つたのです。今年1年が楽しみになつてきました。

自分のことばかり書いてしまいました。今年も、オリンピック・パラリンピックが開催されます。多くの外国人が来日します。無事過ごせることを祈ります。一方で、都病協の皆様にはいろいろご指導をいただきながら、できる協力をさせていただこうと思つています。今年も、よろしくお願ひいたします。

エネルギーの悩み、お聴かせください

東京ガスは医療施設へのエネルギー供給を通じて、医療業界に深く関わってきました。医療施設を取り巻く環境が変化している中で、災害対策・経営効率化・地域への貢献などの課題に対して、東京ガスは培つたノウハウを活かし、お客さまとともに解決策を探していきます。



東京ガスの電気は顧客満足度第1位!

2017年度JCSI(日本版顧客満足度指数)調査
電力小売部門
※調査対象5社(ENEOSでんき・auでんき・大阪ガス・J.COM電力・東京ガス)

ぜひ、下記までお問い合わせください

東京ガス株式会社
都市エネルギー事業部 公益営業部
東京都港区海岸1-5-20

TEL.03-5400-7735